

地域活動支援センターだより

毎月の活動プログラムは、
ホームページをご覧ください。

目が見えづらくなって移動が困難、生活の不自由さを訴える相談が増えていきます。お話を伺った後、白杖歩行等ひかりの森の活動体験をしていただいています。また、国リハ、県リハ、その他の機関への紹介も行っています。

◆地活の活動として、8月23日(水)プロの落語家をお招きし落語会を開催。楽しい時間を持つことが出来ました。

目の健康講座第～35回 埼玉県「目の愛護デー」～

日時: 令和5年10月1日(日)13:00～16:00

会場: さいたまスーパーアリーナ TOIRO

ひかりの森は、販売ブースに出店します。

DVD「あるつく」、珈琲、木工など



声

ひかりの森 利用者・ボランティアの声

「私の仕事」 利用者: 岡本尚桂さん

私は、市内にある高齢者施設「デイサービス」で働いています。今年で8年目になります。今の仕事は、利用者様のドライバー介助、朝のラジオ体操、合間に洗い物やおしぼり配布、午後は折り紙を教えたりしています。

大変だったことは、利用者様やスタッフの声と名前を覚えること、施設内の環境メンタルマップです。利用者様は、私が視覚障がい者とは知らずに接してきます。目がみえづらくなってきている中で気を付けていることは、利用者様とぶつからないようにすること。日によって見え方が違うので、その日のスタッフに伝える様にしています。初めの頃は伝える事で迷惑がかかると思っていたのですが、伝える事でお互いに働きやすくなりました。これからもコミュニケーションをとりながら、私なりに楽しく働きたいと思います。



「ボランティア」 援助スタッフ: 外岡信子さん

私は病院を退職したら視覚障がいがある方のボランティアをしたいと考えていました。母が網膜剥離の手術をしたり、姉が加齢黄斑変性症や緑内障に罹患したのも影響しています。

「ひかりの森」は市民活動支援センターで知り、同行援護従事者養成研修を受講しました。一般課程及び応用過程を修了して白杖講習会やコンサートの時に同行援護したり、外出のお手伝いをしています。

看護師や助産師の資格が役にたつこともありました。

ボランティアは今迄経験したことのない新しい経験が楽しく、学びや気づきがあるので、充実しています。仕事をしているときは余裕がなく、自治会の行事に参加したり、市民会館での研修を受けることはありませんでしたが、今はボランティアの前に研修を受け勉強してから臨むようにしています。

友人が「自分の生きがいが人の為になっているのは素敵」と言ってくれました。まずは自分がやりたいと思えるボランティアを続けていきたいと思っています。



「白杖講習会」 援助スタッフ: 村上かをるさん

白杖の使い方支援のお手伝いをしています。白杖を使いこなすことによって、安全にスマートに単独歩行が出来るようになりますし、同行援護で歩く際もお互いに安全に歩くことが出来ます。

もっともっと白杖講習会に参加していただける為には、どの様に広報をしたら良いのでしょうか。

障がい福祉課?眼科医?ヘルパーさん?等々、周りを取り巻く方々が、もっともっと声を出していただければ、お手伝いできる方々が、たくさんいると思うのですが。